



佛國森林法

第二

大藏省
翻譯課

12
/



414
A 2789



佛國森林法卷ノ二

米人ウヘルヘッキ氏讀授

河内信朝

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈

光増重健

筆記

第七篇 森林法ヲ以テ管理セル彼此共有ノ森林第一

条ノ第六
項見合

第百十三條 官有ノ森林ヲ保護及ヒ管理シ且ツ該森林ニ於テ
ノ犯罪及ヒ違規ノ訴訟等ニ付テノ事ハ亦此ノ共有ノ森林ニ
適用スヘシ然レモ村邑及ヒ公ノ建造物ニ屬セル森林ニ付テ
第六篇ニ記シタル變化ハ之レヲ除ク可シ

第百十四條 通常或ハ臨時ニ樹木ヲ伐採ルコト之レヲ使用スル
コト之ヲ賣却スルコトハ共有者之レヲ為スコトヲ得ス若シ之レ
背クモハ伐倒シタル樹木又ハ賣却シタル樹木ノ其價ニ均シ
キ罰金ヲ命シ而テ賣却ノ契約ハ其効ナシトス

第百十五條 境界ヲ定ムルノ測量スルノ及ビ番人ヲ置クノニ付テノ費用ハ共有者各々ノ權ニ隨ヒ其割合ヲ以テ之レヲ辨ス可シ

其番人ヲ命シ給金ヲ定メ及ビ番人ヲ退職セシムルノ權ハ森林官署ニノミ之レ有リトス

第百十六條 樹木ノ賣却ヨリ生シタル價金ハ共有者其各々ノ權ニ隨ヒテ其割合ヲ受ク可シ返却物及ビ償金等ニ於テモ亦同シ

第八篇 人民私有ノ森林

第百十七條 人民共私有ノ森林ヲ保護セシメカ為メ其番人ヲ置ント欲スルハ郡長ヨリ其人物ノ免許ヲ得可シ郡長若シ許諾セサルハ之レヲ州長ヘ請求ス可シ

假令ヒ其免許ヲ得ルト雖モ其番人ノ下等裁判所ニ於テ盟ヲ為シタル後ニ非レハ其勤務ヲ行フヲ得ス

第百十八條 官有ノ森林ニ於テ為ス所ト同一ノ方法ヲ以テ第六十三條ニ記スル所ノ定規ニ從ヒ私有ノ森林ヲ使用スルノ權アル者ヲ處置スルノヲ得可シ

第百十九條 私有ノ森林ヘ牧畜ヲ為シ及ビ豚ヲ入レ櫟實ヲ拾取スルノハ可成犬ケ森林官署ヨリ古林ト定メタル場所々ノミ之レヲ為ス可シ

歎類ノ通行ス可キ路ハ其所有主ヨリ之レヲ指示ス可シ

第百二十條 第六十四條第六十六條ノ第一項第七十二條第七十三條第七十五條第七十六條第七十八條ノ第一項第二項第七十九條第八十五條第八十九條ノ諸定規ハ人民私有ノ森林ニ於テ私用ノ權ヲ行フニ付テノ事ニ適用ス可シ故ニ其行有

主ノ権ハ森林上等官吏且ツ森林監察官吏ノ有スル所ノ権ト
同一ナリトス

第百二十一条 森林所有主ト使用ノ権アル者トノ間ニ起リタ
ル争論ハ一般ノ裁判所ヘ訴ヘ出ツヘシ

第九篇 森林ヲ公用ニスル事

第一章 海軍ノ使用ニ供ス可キ森林

第百二十二條 森林法ヲ以テ管理スル諸森林ノ樹木ヲ伐ル可
キ時ニ於テ海軍省ハ其官吏ヲ以テ造船ニ適用スル樹木ヲ撰
ミテ其印ヲ為ス可シ然レハ森林官吏ノ兼テ保存シ置ク可キ
為ニ印ヲ為シタル者ヲ除ク可シ

第百二十三條 前条ニ所謂造船用ノ為ニ印ヲ為シタル樹木ハ
下ノ各条ニ記スル所ノ定規ニ從テ競賣ヲ以テ他ヘ賣ル可キ

樹木中ヘ抱括シ後其買主ヨリ之ヲ海軍省ヘ渡ス可シ

第百二十四條 此森林法布告ノ日ヨリ十年間海軍省ハ人民私
有ノ森林ニ於テ其大木又其兼テ保存シ置ク所ノ木或ハ路傍
ノ並木田畑ノ端ニ在ル木散植セル木ヨリ撰ミテ其印ヲ為ス
ノ権アル可シ

其権ハ標木又伐採ル可キニ定リタル木又地ヲ抜ク一メートルト
ル凡我曲尺三
尺三寸強ノ所ノ大サ十五センチメートル凡我曲尺五尺ニ
三寸弱以上ノ樹木ノニ用ユ可シ人家繞園内ノ樹木及ヒ他
日伐採ス可キ為ニ栽培セン者ニ非ラサル樹木ハ其印ヲ為ス
可キ類ニ属セサルナリ

第百二十五條 前条ニ記セシ其印ヲ為スコトヲ取除ク可キノ樹
木ニ非ス又其所有主自家ノ修復及ヒ新ニ家屋ヲ建造ス可キ
為ニ用ユルニ非レハ總テ其所有主ハ六ヶ月以前ニ伐採ル可

キ樹木及ニ其場所ヲ郡長へ届ク可シ

若シ其届ヲ為サ、ルキハ其樹木ノ大サノ周圍ヲ計リ一メートル毎ニ十八フランクノ罰金ヲ命ス可シ

第百二十六条 郡長へ届ケタル日ヨリ六ケ月間ニ海軍省ヨリ其印シヲ為サ、ルニ於テハ所有主ハ其樹木ヲ自由ニ伐採ルコトヲ得ヘシ

官有及ニ村邑又公ノ建造物且ツ人民所有ノ森林ニ於テ海軍省ヨリ印ヲ為シタル樹木ニ付テハ森林官吏其調書ヲ作リハ日内ニ邑長へ調印ヲ為サシメ而シテ其寫シ一枚ヲ其森林所在ノ邑廳へ預ケ置ク可シ若シ此規ニ違フテ官吏ノ為シタルコトハ其效ナシトス

其調書ヲ邑廳へ預ケタル後ニ其買主及ニ村邑或ハ公ノ建造物且ツ各所有主ハ其印シナキ樹木ヲ自由ニ用ユルコトヲ得可シ

シ

第百二十七条 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林ヲ競賣スルキ

ハ其買主又使用ノ權ヲ得タル森林ニ付テハ邑長公ノ建造物ニ屬スル森林ニ付テハ其管理者人民所有ノ森林ニ付テハ其主各自ニ海軍省ト商議シテ其樹木ノ價ヲ定ム可シ

若シ其價ニ付テ和議ノ成ラサルキハ双方ノ評價人ヲ以テ之レヲ定ム可シ而シテ其評價人ノ所見一和セサルキハ下等裁判所ノ長官ハ其一方ノ者ノ歎願ニ依テ再ニ双方ノ評價人ヲ命ス可シ

此ノ評價人ニ付テノ費用ハ双方ヨリ之ヲ辨ス可シ

第百二十八条 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林ヲ競賣スルキハ其買主又使用ノ權ヲ得タル森林ニ付テハ邑長公ノ建造物ニ屬スル森林ニ付テハ其管理者人民所有ノ森林ニ付テハ其

主等其樹木ヲ伐リタル事ヲ郡長へ告知シタル日ヨリ三ヶ月
間ニ海軍省ヨリ其印シアル樹木ヲ尽ク採取セサル歟或ハ其
代價ヲ拂ハサルニ於テハ其印シアル樹木ヲ自由ニ用ユルコ
ト得ヘシ

第百二十九条 海軍省ハ各森林所有者ノ其樹木ヲ伐ル近ノ間
ニ其為シタル印シテ廢スルノ權アリト雖モ然レモ第百二十
八条ニ從テ其伐リタル樹木ヲ尽ク採取シ又ハ其伐ニ抛棄ス
可シ

第百三十条 各森林所有者ハ郡長へ其樹木ヲ伐ル可キコトヲ告
知シタル日ヨリ一ケ年間ニ其樹木ヲ伐ラサルニ於テハ其事
ハ消尽ス可シ而テ尔後復タ其樹木ヲ伐ルコトヲ欲スル時ハ再
ヒ之レヲ郡長へ告知ス可シ

第百三十一条 自家ノ修復又ハ新ニ家屋ヲ築造スルコトノ為メ

ニ郡長へ告知ス可キ森林ノ樹木ヲ伐ラント思フ人ハ邑長ヨ
リ果シテ其事ノ要用ナルコトヲ證セサル間ハ之レヲ伐ルコトヲ
得ス

其自用ノ事ノ果シテ要用ナルヲ證セル其調査ニ記スル所ノ
目的ニ違ヒテ他事ノ為ニ十分ノ誤ナクシテ其樹木ヲ使用セ
シ所ノ其所有者ハ郡長へ告知セサルコトニ付テ第百二十五条
ニ記スル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第百三十二条 樹木ヲ伐ル可キコトノ告知又前条ニ記スル其自
用ニ要用ナルコトヲ証スルコト又樹木ニ鋸印スルコト又樹木ヲ伐
採ル等ノ事ニ付テ其守ル可キ諸般ノ事ハ政府ヨリ定ム可キ
者ナリ

其諸般ノ事ニ付テハ手数料ヲ出スニ及ハサルナリ

第百三十三条 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林及ヒ人民所有

ノ森林ニ於テ海軍省ヨリ印シテ為シタル樹木ハ轉シテ他ノ
用ニ之レヲ遣フ可カラス此規ニ違フ者ハ其樹木ノ大サ一メ
トトル毎ニ四十五「フ」ラシクノ罰金ヲ命ス可シ然レモ第百二
十六條第百二十八條ニ記スル場合ニ於テハ此條規ヲ除ク可
シ
海軍省ヨリ印シテ為シタル樹木ハ海軍省ヘ渡サ、ル間ハ其
伐リ倒シタル後ニシ置テ之レヲ四角ニ割リタル材木ト為ス
可カラス又海軍ノ官吏ハ斧鋸錐及ヒ其他ノ器具ヲ以テ其價
ヲ減スル様ノ事ヲ為ス可カラス若シ此規ニ違フハ上ニ記
スル所ノ罰金ヲ出サシム可シ

第百三十四條 諸森林ニ於テ犯シタル罪科及ヒ違規ノ海軍用
ノ事ニ関シタルモノハ森林官吏又ハ海軍ノ將官等ヨリ調査
ヲ以テ其證ヲ立ツ可シ故ニ其海軍將官等ノ調査ノ森林官吏

ノ調書ト同シキ書式又ハ其レト同シキ時間ニ作リタル者ナ
ルニ於テハ森林官吏ノ調書ト同様十分ニ裁判ノ証拠ト為ル
可シ

第百三十五條 此篇ノ各條規ハ海軍省ノ為ニ實益ト為ル可キ
場所ノ森林ニノミ適用ス可シ

政府ハ海軍省ヨリ錘印ヲ為スニ關係ナキ其州郡及ヒ邑名ノ
目錄ヲ作りテ之レヲ布告ス可シ

若シ政府該州郡邑ヲ以テ海軍省ヨリ錘印ヲ為ス可キ中ニ加
ヘルヲ要用ト思量スルニ於テハ更ニ其州郡邑ノ名ヲ布告ス
可シ

第二章 「ライ」河ノ為ニ道路橋梁等ノ事ニ管スル
官署ヘ用ユ可キ森林

第百三十六條 「ライ」河ニ付テ其堤塙ヲ築キ及ヒ其堤塙ヲ堅

固ナラシムル為メノ東柴ヲ作ル為ニ樹木又ハ水揚枝ヲ急ニ
用ユヘキ時ニハ州長ヨリ其事ノ要用ナルヲ証スルニ從テ先
ツ官有ノ森林ヨリ其樹木及ヒ水揚枝ヲ渡ス可キコトヲ命ス可
シ若シ官有ノ森林^ニテ不足アル時ハ村邑及ヒ公ノ建造物ニ附
屬スル森林及ヒ人民所有ノ森林ニ其物ヲ渡ス可キ事ヲ命ス
可シ而テ此条規ハ其河岸ヨリ五^五キロメートル^五ノ距離
内ニ在ル森林ノモニ適用ス可シ

第百三十七條 故ニ河洲河岸又五^五キロメートル^五ノ距離内ニ於
テ森林ヲ所有セル者ノ其樹木ノ大小ニ論ナク之レヲ伐採ス
ルコトヲ企ツル時ハ三ヶ月以前ニ郡長ヘ報知ス可シ
而テ三ヶ月間ニ其需用無キニ於テハ所有主ハ其樹木ヲ自由
ニ取扱フコトヲ得可シ

第百三十八條 急用ノ場合ノ外森林ノ所有主前条ニ記スル所

ノ報知ヲ為サスレテ其樹木ヲ伐採スルニ於テハ其伐リタル
地面ノ一^一アール^五ニ^五坪^五強^五ニ^五十^五ニ^五一^五アール^五ノ罰金ヲ命ス可シ
森林所有主ハ其樹木ノ官用アルコトノ報知ヲ得而テ其命スル
所ニ從ハスレテ自由ニ其樹木ヲ取扱フ時ハ一^一アール^五ニ^五四^五
アール^五ノ罰金ヲ命ス可シ

第百三十九條 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林ニ於テ道路橋
梁等ノ事ヲ管スル官署ヨリ要求スル所ノ樹木ヲ伐採スルコ
トハ森林官吏ノ指揮及ヒ監察ヲ以テ該官署ヨリ許ス所ノ請負
人之レヲ為ス可シ

此場合ニ於テ其請負人ハ官有ノ森林ニ於テ一般ノ買主タル
者ノ為ス可キコト及ヒ引受ク可キコトノ其定規ニ從フ可シ

第百四十條 各民所有ノ森林ニ付テ其主ハ道路橋梁等ノコトヲ
管スル官署ヨリ求ル所ノ樹木ヲ自己ニテ伐ルコトヲ好ムト否

トテ該官署へ報告ス可シ若シ之レヲ好マサル時ハ前条ノ定規ニ從ヒテ其管署ヨリ許ス所ノ請負人之レヲ伐採ス可シ又其官署ノ求昏ニ定メタル時間ニ自己ニ其樹木ヲ伐採セサル時ハ州長ノ指令且其所有主ノ費用ヲ以テ該官署ヨリ之レヲ伐採ス可シ

第百四十一条 第百三十六条ニ依テ道路橋梁等ノ事ヲ管スル官署ヨリ求ムル所ノ樹木及ヒ水揚ノ其代價ハ其伐リ了リシ日ヨリ三ヶ月間ニ海軍省ヨリ印シテ為レタル樹木ノ事ヲ付テ第百二十七条ニ定リタル價ヲ極ムルコトノ仕方ニ從テ該官署ノ請負人ヨリ官及ヒ村邑又公ノ建造物且ツ人民所有ノ其主ヘ払フ可シ

村邑及ヒ人民ノ所有主ハ其樹木ヲ時節ニ違ヒテ伐リタルニ付テ其損害ヲ受ケタルハ官私双方ノ約束ヲ以テ定ル所或

ハ評價人ノ定ル所ノ其價金ヲ受ク可シ

第百四十二条 此章各条ノ定親ニ依テ其樹木ヲ求ムルコト樹木ヲ伐ルコトヲ企ル時ノ報知及ヒ樹木ヲ求ムルコトノ報知等ニ就テ守ル可キ其方法ハ政府ヨリ之レヲ定ム可シ

第百四十三条 此章ノ各規ニ背キ及ヒ犯罪ノ者アル時ハ森林官吏及ヒ番人道路橋梁等ノ事ヲ管スル官吏ノ視察ニ誓ヒ為シタル巡查長ノ訓書ヲ以テ其証ヲ立ツ可シ

此各官吏ノ其調書ノ事ニ付テハ森林番人ノ調書ノ事ニ付キ
第十一篇第一章ノ各規及ヒ其時間ヲ守ル可シ

第十篇 森林ノ取締及ヒ保護ノ事

第一章 諸森林ヘ用ユ可キ各規

第百四十四条 石、沙、泥、金屬、糾草、土、泥岸、アルイエール灌木、名木、箒草、實草、實草、樹木ノ青葉、及ヒ枯葉、森林ニ在ル肥料、標實、山毛棒ノ實

他各種ノ菓及ヒ核子ヲ許可ヲ得スレテ採取及ヒ運輸スル者ハ左ノ罰金ヲ命セラル可シ

車ハ其牛馬ノ每一頭十フランク以上三十フランク以下駄牛駄馬ハ每一頭五フランク以上十五フランク以下人ハ每一人ニフランク以上六フランク以下加之三日以上入牢ノ罰ヲ命スルコアル可シ

第百四十五条 道路橋梁等ノ事ヲ管スル官署ハ官用ノ為ニ樹木及ヒ水揚ヲ蓄ヘ置ク可キ其場所ヲ指示スルノ権ハ有レ然レ其樹木ヲ伐ルコノ請負人ハ官及ヒ村邑又公ノ建造物且ツ人民ヘ對シテ定マレル所ノ償金ヲ辨シ而テ其事ニ付テ法及ヒ規則ヲ以テ定メタル各般ノ事ヲ遵守ス可シ

第百四十六条 鎌斧鋸或ハ其他ノ物ヲ所持セル者森林中往來ス可キ道路ノ外ニ居テ官吏ニ見頭ハサレタル時ハ十フラン

クノ罰金ヲ命シ且ツ其諸器ヲ取上ル可シ

第百四十七条 馬車牛車獸畜及ヒ駄馬駄牛且ツ乘馬ハ森林往來ノ道路外ニ居テ見頭ハサルニ於テハ其主ハ左ノ罰ヲ命セラル可シ

十年以上ノ星霜ヲ歴タル森林ニ於テハ馬車及ヒ牛車ノ每一頭十フランク十年以下ノ森林ニ於テハ二十フランク車ニ付屬セサル獸畜ハ每一頭牧畜ノ事ニ依テノ犯罪ニ付キ第百九十九条ニ定リタル罰金且ツ或ハ償金ヲ命スルコアル可シ

第百四十八条 森林中又ハ森林ヨリ二百メートルノ距離内ニ於テ火ヲ取扱ヒ及ヒ火ヲ燃スコトヲ禁ス此ニ背ク者ハ二十フランク以上百フランク以下ノ罰金ヲ命ス可シ若シ或ハ火災ヲ引起シタル時ハ刑法ニ定マレル所ノ罰ヲ命シ且ツ或ハ各種ノ償金ヲ出サレム可シ

第四百十九條 森林ヲ使用スルノ權アル人火災ノ時ニ其權ニ
關係アル森林ヲ助力消防スルコトヲ距ムニ於テハ警視廳へ告
訴セラレ一年以上五年以下其使用ノ權ヲ奪ハレ而テ刑法第
四百七十五條ニ定レル罰ヲ受ク可シ

第四百十條 森林ノ境界ニ傍ラタル樹木ノ三十年以上ヲ歴リ
ル者ナルニ於テハ隣地ノ主其樹木ノ枝ヲ伐ラシムルニ民
法ノ第六百七十二條ヲ用ユルコトヲ得ス森林所有主ノ許ヲ得
スレテ該樹枝ヲ伐ル者ハ第四百九十六條ニ記スル所ノ罰ノ命
ス可シ

第二章 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林へ用ユ可
キ各規

第四百九十一條 年時ノ長短ニ論ナク然テ石灰ヲ燒ク竈及ヒ練
化石製造所又瓦ヲ燒ク竈ハ政府ノ允許ヲ得スレテ森林中又

森林ヨリ一キロメートルノ距離内へ建設ス可カラス之レ
ニ背ク者ハ百メートル以上五百メートル以下ノ罰金及ヒ其
建築物ヲ取崩ス可キノ言渡ヲ受ク可シ

第四百五十二條 何様ノ誤アリト雖モ政府ノ允許ヲ得スレテ假
屋及ヒ小屋又假ノ板屋ヲ森林中又森林ヨリ一キロメートル
ノ距離内へ建造ス可カラス之レニ背ク者ハ五十フラン
ノ罰金及ヒ其裁判言渡ノ日ヨリ一ヶ月内ニ其建築物ヲ取崩ス
可キノ言渡ヲ受ク可シ

第四百五十三條 政府ノ允許ヲ得スレテ森林法ヲ以テ管理ス可
キ諸森林ヨリ五百メートルノ距離内へ家屋又ハ農舎ヲ建築
ス可カラス若レ之レニ背ク時ハ其建築物ヲ取崩ス可キノ言
渡ヲ受ク可シ
其允許ヲ請クノ願ハ六ヶ月間ニ之レヲ裁決ス可シ故ニ其六

ケ月ノ時間ヲ経過セシ後ハ其家屋農舎ヲ建築スルコトヲ得可
シ
從來既ニ建築セシ家屋農舎ハ之レヲ取崩スコト命スルニ及ハ
ス且ツ其家屋農舎ハ允許ヲ得スレテ之レヲ修復シ或ハ建替
ヘ又造リ廣ムルコトヲ得可シ
村邑ニ附屬スル森林ノ二百五十「ヘクタール」以下ノ坪數アル
者ニハ此ノ初項ノ定規ヲ除ク可シ
第百五十四條 前條ニ定ムル所ノ距離内ヘ從來ノ家屋農舎ニ
居住シ又前條ニ從テ許可ヲ受ケタル家屋農舎ニ居住セル人
政府ノ允許ヲ得スレテ其家屋農舎ニ於テ材木ヲ用ユル事ノ
細工場又材木ヲ賣買スル為ノ園庭及ヒ倉庫ヲ建築スルコトヲ
得ス若シ之レニ背クキハ五十「フランク」ノ罰金及ヒ其材木ヲ
採取スル罰ノ言渡ヲ受ク可シ

共允許ヲ得タル者ノ一度森林法ニ付テ罪ヲ犯セシ「アルキ
ハ政府ハ其允許ヲ廢スルノ權アル可シ
第百五十五條 政府ノ允許ヲ得スレテ森林ノ周圍ノ内及ヒ森
林ヨリニ「キロメートル」ノ距離内ヘ鋸木所ヲ建設ス可カラス
若シ之レニ背クキハ百「フランク」以上五百「フランク」以下ノ罰
金及ヒ其裁判言渡ノ日ヨリ一ケ月間ニ其舎屋ヲ取崩ス可キ
ノ言渡ヲ受ク可シ
第百五十六條 一群ヲ為シタル市街邑里及ヒ村落ノ人家及ヒ
各製造所ハ前三ケ條ニ定ムル所ノ距離内ト雖モ其定規ヲ除
ク可シ
第百五十七條 第百五十一條第百五十二條第百五十四條第百
五十五條ノ定規ニ從テ允許サレタル製造所及ヒ小屋且ツ其
他ノ建築物ハ森林官吏及ヒ番人其建築物ノ内ヲ視察シ而テ

森林官吏二人或ハ其他ノ証人二人ト同行スルニ於テハ諸官
吏ノ立合ニシト虽モ其精シク其搜索視察ヲ為スノ権アル可シ
第百五十八條 第百五十五條ヲ記シタル政府ノ允許ヲ受ケタ
ル鋸木所ハ森林番人ノ未タ認知セズ及ヒ其鋸印ヲ為サバル
間ニ決シテ全身ノ樹木及ヒ堅實ナル方ノ半身ノ樹木又其伐
リ残シノ株ヲ受ク可カラス
番人ノ調書及ヒ其印ハ其報知ビシ日ヨリ五日内ニ之レヲ為
ス可シ鋸木所ノ持主之レニ背クモハ五十フラン以上三百
フラン以下ノ罰金ヲ命ス可シ若シ再ヒ之レヲ犯ス時ハ其
倍数ノ罰金ヲ出サシメ而テ其鋸木所ヲ廢ス可キトハ裁判所
ヨリ之レヲ言渡ス可シ

第十一篇

犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟

第一章

森林法ヲ以テ管理スル森林ニ於テノ犯

罪及ヒ違規ノ訴訟

第百五十九條 森林官署ハ官有及ヒ其他森林法ヲ以テ管理ス
可キ森林所有主ノ為ニ該森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ニ付テ
ノ訴訟ノ事ヲ任セラル、ト虽モ然レモ第八十七條ニ記スル
所ノトニハ之レヲ取除ク可シ
森林官署ハ第百三十四條第百四十三條第二百十九條ニ記レ
タル犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟ノ事ヲ任セラル、者ナリ
訴訟ハ森林官署ノ名ヲ以テ該官吏ノ之レヲ為ス可キモノト
雖モ然レモ之レヲ以テ檢事ノ推テ減殺スル者ニ非ス
森林法ヲ以テ管理ス可キ森林ニ於テ事ノ全ク森林ニ関涉シ
タル犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟ノ終審ノ裁判ニ至ラサル間
ニハ森林官署ハ勸和內濟スルヲ得ルノ権アル可シ而テ終審
ノ裁判後ニ至テノ勸和內濟ハ罰金且ツ償金ノ事ノミニ為ス

了ヲ得可シ

第六十条 森林上等官吏及測量吏且ツ森林番人ハ犯罪又違規ノ者アル了ヲ探索シ而テ調書ヲ以テ上等官吏及コ測量吏ハ其所轄内ニ於テ番人ハ其誓ヲ為シタル裁判所ノアル郡中ニ於テ其證ヲ立ルノ權アリ

第六十一条 森林番人ハ罪ヲ犯シテ見頭ハサレタル動物又該犯者ノ所持セル器具及ヒ車且ツ其車ニ附属セル牛馬ヲ押ヘ預ルノ權アリ又該犯者ノ持去リシ者ヲ其所ニ逐ヒ至リテ其品物ヲ押ヘ預カル事ヲ得可シ

然レハ森林番人ハ最下等^{和平}裁判官或ハ其次官又邑長或ハ副邑長又ハ巡查長ヲ伴ハスレテ人家及ヒ建築物且ツ園庭又繞園中へ入ル了ヲ得ス

第六十二条 前条ニ記スル所ノ各官吏ハ犯罪者ヲ搜索スル

了助ク可キ了ヲ森林番人ヨリ頼マレタル片ハ直ニ番人ト同行スル了ヲ拒ム了得ス

其他各官吏ハ其面前ニ於テ為ス所ノ搜索ノ事又ハ物ヲ押ヘ預リ置ク了ニ付テノ其調書ニ筆押ヲ盡ス可シ

若レ之レヲ拒ム片ハ番人ハ其事由ヲ調書ニ記載ス可シ

第六十三条 森林番人ハ現ニ罪ヲ犯スノ際ニ知レサリシ者ヲ捕縛シテ最下等^{和平}裁判所及ヒ邑長ノ所へ送り行ク了ノ權アル可シ

第六十四条 森林官吏及ヒ其番人ハ森林法ニ関シタル犯罪及ヒ違規ノ事ヲ狎ヘ止メ或ハ法ニ背ヒテ伐リタル樹木及ヒ法ニ背ヒテ賣買シタル樹木ヲ探索シ及ヒ押ヘ預ル了ノ為ニ直ニ公ノ威カヲ^{巡查等}呼出ス了ノ權アリ

第六十五条 森林番人ハ自ラ調書ヲ認メ而テ違クハ其書キ

了リシ明日ニ其邑ノ最下等^{和平}裁判官或ハ其次官又ハ番人ノ
其任所或ハ其罪ヲ犯セシ場所ヲ邑長及ヒ副邑長ノ面前ニ於
テ其筆押ヲ画シ而テ誓ヲ以テ其事ヲ確保ス可シ若シ否ハ其
調書ハ無用ニ屬ス可シ

假令ヒ如何ナル故障アリト虽モ其調書ハ番人自ラ記セシ
テ只其筆押ノミヲ画セシ者ナル時ハ其調書ニ付テ其確保^ヲ
兼ル諸官吏ハ先ツ其調書ヲ^續讀聞カセ而テ其讀聞セシ^ヲ調
書ニ記ス可シ若シ否レハ其調書ハ無用ニ屬ス可シ

第百六十六條 森林上等官吏及ヒ森林番長又騎馬番人ノ己レ
一人或ハ諸番人ト共ニ認ムル所ノ調書ハ其確保ノ誓言ヲ述
ルニ及ハズ

第百六十七條 番人ノ其取押ヘシ品物ヲ記載スル調書ハ確保
ノ誓言ヲ述ヘレ後二十四時間ニ其寫シ一枚ヲ最下等^{和平}裁判

官ノ書記局ヘ納ム可シ而テ書記官ハ取押ヘラレシ品物ノ主
ヘ其報知ヲ為ス可シ

第百六十八條 該犯者ハ品物ヲ取押ヘラレシ^トニ付テノ其費
ヲ拂ヒ且ツ相當ノ保義人ヲ立ルニ於テハ最下等裁判官ハ其
品物ヲ假ニ返シ與フル^トヲ得可シ

若シ其保承人ノ金力ノ事ニ付テ故障ノ生スル^ヲレハ最下等
裁判官其事ヲ裁判ス可シ

第百六十九條 取押ヘラレシ動物ヲ五日ノ内ニ乞ヒ求メス或
ハ乞ヒ求ルト虽モ保義人ヲ立サルニ於テハ最^下等裁判官ハ
近隣ノ市場ニ於テ賣出^ヲ可キ事ヲ命ス可シ而テ其競賣ハ收
税官吏ノ心配ヲ以テ之レヲ為レ而テ收税官吏ハ其競賣ス可
キ^トヲ二十四時間ニ布告ス可シ

動物ノ取押ヘ且ツ之レヲ競賣スルニ付テノ雜費ハ最下等裁

判官之レヲ定メ而テ其競賣ヨリ生スル所ノ金數ヨリ引而テ其殘金ハ其終審ノ裁判ニ至ル迄ノ間收稅官吏ノ手ニ預リ置ク可シ

取押ヘラレシ動物ノ賣レシ後ニ其主ノ乞ヒ求メアリ而テ其裁判其事物ヲ其主ヘ返ス可キトニ決定スル時ハ其主ハ諸雜費ヲ引テ其殘金ノミヲ乞ヒ求ル事ヲ得可シ

第七十條 各種ノ調書ハ各官吏ノ面前ニ於テ確保ノ誓言ヲ述ヘシヨリ四日內ニ官ノ簿冊ヘ登記ス可シ

確保ノ誓言ヲ述ヘルニ及ハサル調書ハ其書キ終リシ日ヨリ四日內ニ亦官ノ簿冊ヘ登記ス可シ若シ簿冊ヘ登記セサル其調書ハ無用ニ屬ス可シ

調書ニ記シタル犯罪及ヒ違規ノ事ノ官有又ハ國王ノ所有又村邑及ヒ公ノ建造物ニ屬スル所ノ森林ニ係ルモノハ其裁判

ノ終ル迄ノ間ハ官ノ簿冊ヘ登記スルニ付テ暫ク其稅ヲ出スニ及ハス

第七十一條 森林法ニ関涉スル犯罪及ヒ違規ノ事ニ付テ森林官署ノ名ヲ以テ該官吏ノ起シタル訴訟ハ刑法裁判所ニ於テ之レヲ裁判ス可シ而テ總テ此等ノ訴訟ヲ受クル事ハ必ス刑法裁判所ニ限ル可シ

第七十二條 呼出狀ニハ其事ノ調書及ヒ確保ヲ為シタル其誓ヲ寫記ス可シ否ハ呼出狀ハ其效ナキ者トス

第七十三條 森林番人ハ森林官署ノ名ヲ以テ起シタル訴訟ノ事ニ付テ諸ノ呼出ヲ為スコトヲ得可シ又裁判所ノ命令書ヲ其者ヘ届ケ達スルコトヲ得ルト雖モ然レモ其命令書ニ記載スルコトノ現實ノ取行ヒヲ為スコトヲ得ス

諸ノ呼出狀及ヒ裁判所ノ命令書ノコトニ付テ森林番人ノ取ル

可キ手数料ハ最下等裁判所ノ門吏ノ書付類ト全様ニ其負教
ヲ定ム可シ

第百七十四条 森林官吏ハ其訴訟ノ趣意ヲ裁判官ヘ説明ス
ノ權アリ而テ裁判官ハ必ス其証拠ヲ聽聞スヘシ

第百七十五条 森林法ニ関涉スル犯罪及ヒ違規ノ事ハ調書ヲ
以テ其証ヲ立ツ可シ或ハ調書ナク又調書ニ其証拠ノ十分ナ
ラサルコトハ乃チ証人ヲ以テ其証ヲ立ツ可シ

第百七十六条 第百六十五条及ヒ第百七十条ノ定規ニ依テ認
メタル調書ノ二人ノ森林上等官吏或ハ二人ノ番人ニテ之レ
ヲ認メ且ツ筆押ヲ画シタル者ナルニ於テハ其記載スル犯罪
及ヒ違規ノ其輕重ニ関スル別ニ其反對シタル証拠ノ生スル
間ハ必ス其証ト為ル可シ

故ニ調書ニ筆押ヲ画シタル者ノ其一人ニ向ヒテ尤ム可キ条
理ナケレハ調書ニ記シタル事ニ付テ他ノ証拠ヲ採受ス可カ
ラス

第百七十七条 定規ニ依テ認メタル調書ノ只一人ノ森林上等
官吏或ハ一人ノ番人ニテ之レヲ為レ且ツ筆押ヲ画シタル者
ナルニ於テハ其罰金及ヒ償金ヲ併セテ百フランク以下ノ言
渡ヲ為ス可キ犯罪及ヒ違規ノ事ニ限リ別ニ其反對シタル証
拠ノ生スル間ハ必ス其証ト為ル可シ

其調書ハ各種ノ犯罪及ヒ違規ノ事ヲ他教人ヘ對シテ同時ニ
其証拠ヲ立ル者ナル時其言渡ス可キ金數ヲ合算シテ裁許ナ
ルニ関セス各百フランク以下ノ言渡ヲ為ス可キ犯罪及ヒ違
規ノ事ニ付テハ亦同様ナル可シ

第百七十八条 其調書ハ別ニ反對ノ証拠ノ生スル間ノ十分ナ
ル證據トナルニ足ラサルハ治罪法ノ第百五十四条ノ定規

ニ從ヒテ森林官吏ハ其調書ノ事ヲ確實ニスルヲ得而テ被告
人ニ於テハ其調書ヲ辨破スルコトヲ得可シ

第七十九条 調書ニ付テ其謬誤アルコトヲ訴ヘント思フ人ハ
呼出状ニ定マリタル裁判ノ當日ノ其以前ニ書付ヲ以テ自分
又ハ証書記者トシテノ証書ヲ以テ委任シタル名代ヨリ裁判所
ノ書記局ヘ出ス可シ

其訴書ハ裁判所ノ書記官之レヲ受取リ而テ其本人又名代人
ハ其姓名筆押ヲ画ス可シ若レ之レヲ画スル能ハサル者アル
時ハ必ス其故ヲ記載ス可シ

定リタル裁判ノ當リニ裁判官ハ訴書ヲ受取リシ其証書ヲ記
ス可シ而テ三日以上八日以下ノ時間ヲ定テ其本人ハ其謬誤
アルノ證據及ヒ出ス可キ証人ノ職業及ヒ住所ヲ書記局ヘ届
ク可シ

其時間ノ経過シタル片ハ再ヒ別段ニ其呼出ヲ為スニ及ハス
調書ノ謬誤ヲ訴フル其証拠ノ果シテ該調書ヲ打消スニ足ル
可キ者ナルニ於テハ裁判官ハ乃チ其証拠ヲ採受シ而テ其謬
誤アリシ事ハ法律ニ從テ之レヲ処分ス可シ若レ之レニ及シ
タル時又ハ其人此条ノ定規ニ從ハサル片ハ裁判官ハ其謬誤
ヲ訴フルノ證據ヲ受ク可カラスレテ而テ再ヒ其原訴訟ノ裁
判ヲ為スコノ言渡ヲ為ス可シ

第一百八十条 裁判所ヘ出席ヲ為サズレテ裁判ノ言渡ヲ受ケレ
者ハ治罪法第百八十七条ニ記シタル時間ニ其調書ノ謬誤ナ
ルコトヲ訴フルヲ得可シ

第一百八十一条 其調書ハ他教人ハ關係シタル者ニテ其内ノ一
二人ヨリ其調書ノ謬誤ナルコトヲ訴ヲ為シ而テ其訴フルコトノ
總テノ人負ニ關係セサル時ハ其調書ハ其訴ヘサル者ヘ對シ

テハ十分ナル証拠ト為ル可シ

第百八十二条 森林法ニ関涉スル犯罪及ヒ違規ノ訴訟ニ付テ
被告人若シ直ニ其所有ノ權或ハ其他ノ權アルコトヲ答辨スル
於テハ裁判官ハ左ノ定規ニ從テ其裁判ヲ為ル可シ
其被告人ノ申述スル事ハ正シキ証書ヲ持シ或ハ証書ヲ持セ
ル者ト同様ナル所有ノ權アルコトヲ主張シ且ツ其權ハ真ニ自
己ニ屬シタル者ニテ明細ニ其証拠ヲ立テ而テ其出ス所ノ證
書及ヒ其所有ノ權ヲ裁判所ニ於テ真正ノ者ト確定シテ其犯
罪及ヒ違規ノ訴訟ヲ全ク打消スニ足ル可キ時ノミ裁判官ハ
其申述ヲ許諾ス可シ

右ノ訴訟若シ民法ノ裁判ニ引移サル、時ハ其言渡書ニ長カ
ラサル時間ヲ定メ與フ可シ而テ其時間ニ控訴者ハ其趣旨ヲ
關係ノ裁判官ヘ申述シテ其証拠ヲ立ツ可シ若シ其時間ニ其
事ヲ怠ル時ハ再ヒ刑法ノ裁判ニ返ルヘシ而テ其裁判入牢ノ
罰ヲ言渡ス可キニ定リタルハ暫ク其事ヲ停メ置キ其罰金
又品物ノ辦償金及ヒ償金ハ之レヲ預金官署ヘ払ハシメ而テ
後再ヒ其控訴ノ事ニ付テノ民法ノ裁判ヲ為ス可シ而テ其入
牢ノ事及ヒ預金官署ヘ払ヒシ諸金ハ其裁判所ノ差圖ニ從テ
之レヲ処分ス可シ

第百八十三条 森林官吏ハ其官署ノ名ヲ以テ他ノ裁判所及ヒ
上等審裁判所ヘ控訴スルヲ得可シ而テ其官吏ハ其官署ノ別
段ノ允許ヲ得スレテ其訴訟ヲ止ムルコトヲ得ス

第百八十四条 森林官吏ノ有スル控訴ヲ為スノ權ト檢事ノ權
トハ互ニ関涉セスレテ各々持立シタル者ナリ故ニ森林官署
及ヒ官吏ハ既ニ裁判ノ決定ヲ受ケタリト雖モ檢事ノ猶ホ獨
リ其權ヲ行フ事ヲ得可シ

第百八十五条 森林法ニ関涉スル犯罪及ヒ違規ノ訴訟ニ付テ
被告人ノ名ヲ調書ニ記載シアル時其事其調書ヲ認メシ日ヨ
リ己ニ三ヶ月ヲ経タル者ナルハ其訴訟ハ消尽ス可シトモ
ハ被告人ノ名ヲ調書ニ記載セサル時ハ滿六ヶ月ノ後ニ至リ
テ消尽ス可シ

然レハ買主及ヒ其伐木ノ丁關係シタル請負人ニ向テハ第四
十五条第四十七条第五十条第五十一条第八十二条ノ定規ヲ
適用ス可シ

第百八十六条 前条ノ定規ハ森林官吏及ヒ番人ノ其職務ヲ行
フ際ニ自ラ為シタル犯罪及ヒ違規ノ事ニ適用ス可カラズ此
等ノ官吏及ヒ其黨類ニ付テノ其時間ハ治罪法ニ定リシ時間
ニ同キモノトス 治罪法第六百二十八
条第六百四十条見合

第百八十七条 犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟及ヒ裁判ハ人ヲ呼

出ス丁又裁判所ヨリ言渡ス各様ノ時間又裁判所ノ呼出シニ
出席セラル者或ハ各種ノ訴訟ニ付テ控訴ヲ為ス者或ハ裁判
ノ言渡或ハ他ノ裁判所及ヒ上等審裁判所ハ控訴スル等ノ事
ニ付テ治罪法ノ各種ノ条規ハ此篇ニ記スル所ノ變化ヲ取除
ケテ此法ニ記スル各種ノ犯罪及ヒ違規ノ取捌方ニ適用ス可
シ

第二章 森林法ヲ以テ管理セラル森林ニ於テノ犯
罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟

第百八十八条 森林法ヲ以テ管理セラル森林ニ於テノ犯罪及
ヒ違規ノ事ハ人民自ラ置ク所ノ其森林番人及ヒ田舎邏卒騎
馬巡查又田舎ニ於テノ犯罪者ヲ探索シ且ツ其證ヲ立ツル為
ニ專任セラレタル巡查ヨリ探索シ且ツ其證ヲ立ツ可シ
而テ其調書ハ其反對ノ証拠ノ生スル間必ス真正ノ証ニ為ル

可シ

其調書ハ総テ官ノ簿冊ニ登記ス可シト雖氏人民自ラ置ク所ノ其森林番人ヲ除キテ其他ハ暫ク其税ヲ出スニ及ハス

第百八十九条 第百六十一条 第百六十二条 第百六十三条 第百六十七條 第百六十八條 第百六十九條 第百七十条ノ第一項 第百八十二条 第百八十五条 第百八十七条ニ記シタル各種ノ定規ハ森林法ヲ以テ管理セサル森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟ニ適用ス可シ

第百九十条 人民私有ノ森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ノ事ヲ相當ノ裁判所ニ於テ裁判スル事ニ付テハ乃チ治罪法各種ノ定規ヲ用ユ可シ

第百九十一条 人民自ラ置ク所ノ其森林番人ノ調書ハ確保ノ誓ヲ為シタル日ヨリ一ヶ月間ニ各々其關係ニ依テ上等審裁

判所ノ檢事及ヒ最下等裁判官ヘ遺ス可シ

第十二篇 諸森林ニ付テノ罰規

第百九十二条 ニテシメトシ凡我六十周圍ノ樹木及ヒ其以上ノモノヲ伐リ或ハ之レヲ採取セシムニ付テハ其樹木ノ種類及ヒ其大小ノ差違ニ從テ左ニ定ル所ノ罰金ヲ命ス可シ

樹木ハ其品級ヲ二等ニ分ツ

其第一級ハ 櫟 山毛櫟 榲桲 榆 秦皮

楓 アテタス楓種 松 サアーベン松種 落葉松 栗

胡桃 アリジユ ヲアルロユ ヲオルミユ 山櫻山野

然生ノ其他菓實アル樹木類

其第二級ハ 赤楊 菩提樹 樺 白楊 白楊

リユ白楊種 柳 且ツ第一級ニ入ラサル總テノ樹木類

第一級ノ樹木ニテシメトシ周圍アルルルノ罰金ハ其ニテ

シノートトシ毎ニ一「フランクタル可ク而メ其二デシノート」
周圍以上ナルキハ其一デシメートル毎ニ十サンチーニ凡我
宛ヲ加フ可シ

第二級ノ樹木ノニデシメートル周圍アルキノ罰金ハ其二デ
シメートル毎ニ五十サンチームナル可ク而テ其二デシメー
トル周圍以上ナルキハ其一デシメートル毎ニ五サンチームヲ加
フ可シ

然テ上ニ説ク所ノ事ハ此法ニ添ヘタル所ノ表ニ從テ可シ表ハ
セス而テ樹木ノ周圍ハ其拔地一メートルヲ測ル可シ
其罰金ノ十五フランクヨリ以上ニ至ラサルキハ罰金ノ外五
日ヨリ長カラサル入牢ノ罰ヲ命スルヲ得ヘシ若シ其罰金
十五フランクヨリ以上ナル時ハ三月ヨリ長カラサル入牢
ノ罰ヲ命スルヲ得可シ

第九十三條 第九十三條ニ記スル所ノ定規ヲ適用ス可キ樹

木ニテ既ニ運ヒ出シ或ハ其樹形ヲ更改シタルキハ其周圍ハ
其切株ヲ以テ之レヲ測ル可シ若シ其切株ノ有ラサルキハ其
更改セシ材木ノ方面ノ尺ニ其五分ノ一ヲ加ヘテ之レヲ測ル
可シ

若シ其切株ト材木ト併テ無キ時ニ於テハ其罰金ノ高ハ其訴
訟ニ関シタル書類ニ依リ裁判所ニ於テ量定スル所ヲ以テ之
レヲ算計ス可シ

第九十四條 ニデシメートル周圍以下ノ樹木ヲ伐リ或ハ之
レヲ採取セシ「」ニ付テノ罰金ハ其運送車ニ附屬セル動物ノ
每一頭十フランク其直ニ負載スル所ノ動物ニ付テハ每一頭
五フランクタル可シ若シ人ヲ以テ搬運スル時ハ每一人或ハ
其樹木ノ一束毎ニ二フランクノ罰金ヲ命ス可シ

且ツ罰金ノ外五日ヨリ長カラサル入牢ノ罰ヲ命スルコトヲ得
ヘシ

其樹木若シ五ヶ年以内ニ種ヲ播シ或ハ植付ケシモノナル時
ハ其罰金ハ其樹木ノ大小ニ論ナク每一木ニ三フラングヲ命
シ且ツ一ヶ月以下入牢ノ罰ヲ命ス可シ

第百九十五条 森林中ニアル苗床ノ樹木ヲ拔取ル人ハ十フ
ラ以上三百フランク以下ノ罰金ヲ命シ或ハ五日ヨリ長カ
ラサル入牢ノ罰ヲ命スルコトヲ得可シ

若シ其罪ノ別段丁寧ニ依リタル苗床ニ係リタル時ハ罰金ノ
外十五日以上一ヶ月以下入牢ノ罰ヲ命ス可シ

第百九十六条 森林ニ於テ穉樹ノ梢ヲ伐リ或ハ樹皮ヲ剥キ及
ヒ緊要ノ枝ヲ伐リ其他樹木ノ其因ヲ為サ、ル程ノ折傷ヲ為
ス者ハ其樹木ヲ伐倒シタルト同様ノ罰ヲ受ク可シ

第百九十七条 森林ノ倒レ木及ヒ法ヲ犯シテ伐リタル樹木ヲ
自僦ニ搬ヒ去ル者ハ森林ノ植木ヲ伐リ倒シタルト同様ノ罰
金及ヒ其償ヲ命ス可シ

第百九十八条 森林中ヨリ樹木及ヒ産物ヲ法ヲ犯シテ採取ス
ル者ハ罰金ノ外其償ヲ命シ且ツ或ハ其レカ為ニ生シタル損
害ノ償ヲ為サシム可シ而テ鋸及ヒ大小斧鎌且ツ其黨與ノ者
ノ所持セル同種類ノ器具ハ之レヲ取上ル可シ

第百九十九条 十年以上ノ星霜ヲ歴シ森林ニ於テ昼間ニ法ニ
背キタルコトヲ見顯ハサレタル動物ノ其主ハ左ニ記スル所ノ
罰金ヲ命ス可シ

豚每一頭一フランク 羊類每一頭ニフランク 馬類每一頭三フ
ランク 山羊每一頭四フランク 牛犢每一頭五フランク
若シ其森林十年ノ星霜ヲ歴サル者ナルニ於テハ其倍數ノ罰

金ヲ命シ且ツ或ハ其レカ為ニ生シタル損害ノ償ヲ為サシム
可シ

第二百条 人若シ他森林所有主用ユル所ノ鋸印ヲ贋造シ及ヒ
之レヲ用ユルキハ三ヶ月以上ニケ年以下入牢ノ罰ヲ命シ又
他所有主ノ真ノ鋸印ヲ竊ニ取用ヒテ其人ノ損害ヲ為シタル
キハ亦同様ノ罰ヲ受ク可シ

第二百一条 再犯ノ罪人ハ必ス其本規ノ倍数ノ罰ヲ命ス可シ
再犯トハ一タヒ森林法ヲ犯シテヨリ十二ヶ月間ニ再ヒ裁判
ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ云フナリ
其罪若シ夜間ニ之レヲ犯シ或ハ鋸ヲ用ヒテ樹木ヲ伐採シタ
ルニ於テハ亦同様ノ罰ヲ命ス可シ

第二百二条 損害ノ償ヲ為ス可キヲ言渡ス場合ニ於テ其金
數ニ該犯者出ス可キ罰金ヨリサナカル可カラス

第二百三条 各裁判所ハ刑法第四百六十三條ニ記スル所ヲ以
テ此ノ森林法ニ定メタル諸件ニ適用ス可カラス

第二百四條 返却物及ヒ償金ハ其各主ヘ付シ罰金及ヒ請取上
ケ物ハ必ス官有ト為ル可シ

第二百五條 森林ノ競賣ノ事ニ付キ若シ詐偽計策等ヲ為シタ
ル故ヲ以テ其事ヲ廢スルキハ其買主ハ其言渡サレタル罰金
亦損害ノ償金ノ外既ニ伐リタル樹木ヲ返却シ或ハ其代價ヲ
出ス可シ其代價ハ其競賣ノ取極メノ價ニ依テ其負數ヲ定ム
可シ

第二百六條 父母及ヒ夫且ツ後見人又諸ノ主人タル者及ヒ戸
主ハ其妻子及ヒ未タ婚姻ヲ為サスレテ其家在ル幼者又人ニ
負托シタル幼者諸細工人諸御者又諸附屬者ノ犯罪及ヒ違規
ノ事ニ付テハ民法ニ關濟スル丈ノ引受ヲ為ス可シト雖氏又

其犯罪違規ノ者ヘ對テ訴訟ヲ為スノ權アル可シ

此引受ケテ為ス丁ハ民法ノ第一千三百八十四條ノ第五項ニ從テ而テ其引受ノ返却物及損害ヲ償ヒ且ツ裁判ノ費用ニ及フ可シ然レハ第四十六條ニ記シタル場合ニ非レハ其返却物等ノ事ノ為ニ入牢ノ責ニ任スルヘカラス

第二百七條 森林官署ノ上下ノ官吏ヘ向ヒ此法ニ定メタル各種ノ罰ハ該官吏ノ狡猾謀或ハ權外ノ事ノ為ニ本罰ノ外ニ受ク可キ訴訟及ヒ其罰トハ別様ナル者ト為ス可シ

刑法第七十九條及ヒ第百八十條ニ從ヒテ諸官吏及ヒ諸森林官吏ヘ對シ賄賂ヲ為ス事ノ企ニ付テ生シタル訴訟モ又別様ノ者ト為ス可シ

第二百八條 森林法ニ別段定メ無ク諸ノ場合ニ於テハ刑法ノ諸定規ヲ適用ス可シ

第十三篇 裁判言渡ノ事

第一章 森林法ヲ以テ管理スル森林ニ於テノ犯罪

ノ裁判言渡

第二百九條 森林官署ノ許ニ依テ為シタル裁判言渡書又ハ檢事ノ許ニ依テ為シタル裁判言渡書ハ其訴訟ニ關係シタル者ノ姓名及ヒ裁判言渡ノ其趣旨ノ抄書ヲ以テ其本人ニ告知ス可シ

裁判所ヘ出席ヲ為サ、ル時ノ裁判ノ言渡ニ付テノ故障ヲ申述シ及ヒ控訴ヲ為ス丁ノ定マリシ時間ハ其本人ヘ告知セシ其日ヨリ始マル

第二百十條 森林ニ付テノ種々ノ罰金ヲ取立ル事ハ收税吏ヘ任セラレシ者ナリ

此收税官吏ハ森林法ヲ以テ管理スル森林ニ於テノ犯罪及ヒ

違規ノ事ノ為ニ裁判言渡ヲ為シタルヨリシテ生スル返却物
及ヒ諸費用且ツ償金ヲ取立ルコトヲ任セラレシ者ナリ
若シ金カナキ犯罪者ナルキハ森林官署ノ免許ヲ得テ其出ス
可キ償金及ヒ諸費用ヲ森林或ハ村邑ノ道路ニ於テカ役ヲ以
テ之レヲ償フ事ヲ得可シ
州ノ代議員ハ其州内各邑ノ其カ役ヲ受ク可キト否トニ依テ
其カ役ノ賃銀ヲ払フヘキコトヲ定ム可シ
該犯者ノ為ス可キカ役ヲ森官署ヨリ定メタル時間ニ為サハ
ル時ハ最初ノ裁判言渡ニ從ヒテ乃チ之レヲ實斷ス可シ
此条ニ定リタルカ役ノ事ニ付テ其カ役ヲ受ク可キノ權ヲ有
スル者ハ此カ役人ヲ分配ス可キ事ハ州府ノ規則書ヲ以テ之
レヲ定ム可シ

第二百十一條 罰金及ヒ返却物償金且ツ諸費用ヲ生ス可キ裁

判言渡ハ入牢ノ責ヲ以テ之レヲ処置ス可シ然レモ該犯者ハ
裁判ノ事ヲ告知セシ日ヨリ五日ヲ過テ後之レヲ行フ事ヲ得
可シ

上ニ言フ所ノ諸事ノ為ニ收税官吏ノ乞願フルニ於テハ檢事
ハ裁判ノ事ニ関係スル巡查ニ其際ヲ渡ス可シ

第二百十二條 罰金及ヒ其他ノ金ヲ納メサル故ヲ以テ入牢ノ
責ヲ言渡サレタル者ハ其金ヲ納ムル迄或ハ其收税官吏ノ兼
諾スル保承人ヲ立ル迄ノ間入牢ノ責ヲ受ケ又或ハ收税官吏
其保承人ヲ承諾セサルモ下等裁判所ニテ其保承人ヲ承諾ス
ル迄ノ間入牢ノ責ヲ受ケ可シ

第二百十三條 然レモ該犯者置罪法ノ第四百二十條ニ定リタ
ル仕方ヲ以テ其金カナキコトヲ證スルモ又ハ罰金及ヒ其他ノ
金數ノ十五フランクヨリ以上ニ至ラサルモ入牢ノ責ヲ受

ル十五日ニシテ之レヲ放免ス可シ而ノ其金数ノ五十フラン
ク以下十五フランク以上ナル者ハ入牢一ヶ月ニシテ之レヲ
放免ス可シ又其金数五十フランク以上ニ達スル者ハ入牢二
ヶ月ヨリ以上ノ入牢ニ処ス可カラス又再犯者ヲ入牢セシ
ムル時間ハ總テ其一倍ヲ加フ可シ

第二百十四条 何レノ場合ニ於テモ犯罪ニ係リタル金ヲ納メ
サルカ故ノ入牢ハ其他ニ法ニ於テ定マリタル入牢ト殊別ナ
ル者トス

第二章 森林法ヲ以テ管理セサル森林ニ於テノ犯
罪ノ裁判言渡

第二百十五条 人民私有ノ森林ニ於テ為シタル犯罪ニ付キ其
人民ノ利益ト為ル可キ裁判ノ言渡ハ人民ノ歎願ニ依リ森林
官署ノ訴ヨリシテ為シタル裁判言渡ト同シキ任方ヲ以テ其

其本人ヘ告知シ及ヒ同シキ責^{入牢ヲ以テ執リ行フ可シ且ツ}
其裁判言渡書ニ定リタル罰金ハ收税官吏之レヲ取立ツ可シ
若シ金カナキ該犯者ハ第二百十条ノ第三項ニ定リタル如ク
スル丁ヲ得可シト雖モ罰金及ヒ官ヨリ出シタル費用ノ事ノ
ミニ用ユ可シ此場合ニ於テ其力役ハ其罪ノ生シタル村邑ノ
道路ノミニ費ス可シ

第二百十六条 該犯者ヲ森林所有主ノ願ニ依テ入牢セシメ又
其所有主ノ利益ト為ル可キ入牢セシメタル時其所有主ハ訴
訟法ノ第七百八十九条ニ定マリタル養料ヲ具フ可シ

第二百十七条 該犯者ノ保承人ノ相當ナル丁又該犯者ノ金カ
ナキ事ニ付テ森林所有主ヨリ故障ヲ述フル時ハ双方立合ノ
上裁判官之レカ裁判ヲ為ス迄ノ間ハ其所有主ノ為ニ入牢セ
ラレタル者ヲ第二百十二条第百十三条ニ從テ放免ス可カ

ラス

第十四篇 総規

第二百十八條 森林ニ付テノ國法定規命令、布告、定書、國議院ノ決議書且ツ其ノ等ノ類ノ何レノ年時ノ者ナルヲ論セス此ノ森林法ニ定ムル所ノ各事ノ回規ハ以後全ク之ヲ廢止ス可シ然レ氏此法ヲ設ケタルヨリ以前ニ得タル所ノ種々ノ權力ノ事ニ付テ若シ訴訟アル氏ハ其回規ニ依テ之ヲ裁判ス可シ

第十五篇 人民其私有ノ森林ヲ開墾スルコト

第二百十九條 森林所有主ハ遅クモ四ヶ月前ニ郡長ヘ陳述ヲ為サスシテ其樹木ヲ伐除シ及ヒ開墾ヲ為ス可カラズ而テ其四ヶ月ノ時間ニ森林官署ハ其事ニ付テノ故障ヲ其所有主ヘ告知スルノ權アリ又森林所有主ハ其陳述書ニ記載シテ森林

所在ノ地ヘ其居所ヲ定ム可シ

森林官署ヨリ故障ノ事ヲ其所有主ヘ告知スル前其所有主ヘ下ニ記スル該森ノ場所且ツ其形状ノ検査ヲ為ス可キ事ヲ告知シテ後速クモ八日以後ニ森林監察官及ヒ下等森林監察官且ツ番長ハ其開墾ス可キ森林ノ其在リ場所且ツ其森林ノ形状ヲ検査シ而テ委細ニ其調書ヲ作ル可シ而テ其所有主ノ意見ヲ記述センル為ニ其調書ノ寫シヲ送ル可シ
森林官署ヨリ故障アル時州長ハ州ノ議負ト共ニ故障ノ其當否ハ商議ヲ為ス可シ

其商議ノ寫ハ該州内ニ在ル森林官署ノ官吏且ツ其森林所有主ヘ送ル可シ而テ又之ヲ大蔵卿ヘ呈シ而テ大蔵卿ハ國議院ノ該省關係ノ課ヘ尋問セン上ニテ之ヲ裁決ス可シ
森林官署ノ故障ヲ告知セン日ヨリ六ヶ月間大蔵卿ノ裁決ノ

知セ無キ時ハ森林所有主ハ其森林ヲ開墾スルコトヲ得可シ
第二百二十条 左ニ記スル各事ノ為ニ其森林ヲ保守ス可キコト
ノ必要ナル時ハ森林官吏ハ其森林ヲ開墾スルニ付テ故障ヲ
陳述スルコトヲ得可シ

其一 山及ヒ山坂ノ土ヲ保固スル事

其二 大小河川ノ浸陥ヲ保固スル事

其三 泉水及溪流ノ為ノ事

其四 海水ノ浸陥及ヒ海岸ノ飛沙ヲ保固スルコト

其五 國境近傍ノ土地ヲ保護スルコト

其六 人民ノ健康ヲ保護スルコト

第二百二十一条 第二百十九条ニ違背スル森林所有主ハ其開
墾シタル地ノ一ヘクタドルニ付テ五百フランク以下ノ罰金
ヲ命セラレ且大蔵卿ノ命ニ依テ違クハ三年ノ間ニ其開墾シ

タル土地ハ更ニ樹木ヲ植付ク可シ

第二百二十二条 森林所有主大蔵卿ノ裁決ヲ以テ言付ラレシ
時間ニ更ニ樹木ヲ植付或ハ種ヲ播スルコトヲ為サ、ルキハ森
林官署ハ州長ノ許可ヲ取り其所有主ノ費用ヲ以テ樹木ヲ植
付ケ或ハ種ヲ播スルヲ為ス可シ而テ州長ハ其仕事ノ勘定書
ヲ了承シ其所有主ヨリ必ス其費用ヲ取立ツ可シ

第二百二十三条 上四ケ条ノ各規ハ自終ニ開墾シタル森林ヲ
回ニ復セシムル為ニ大蔵卿ノ命ニ依テ播種シ又樺樹ヲ植付
タル所ノ地ヲ再度自終ニ開墾シタル時ニモ亦適用ス可シ

第二百二十四条 第二百十九条ノ各種ノ定メニ取除ク可キ者
左ノ如シ

其一 前条ニ記スル如キ大蔵卿ノ命令ニ關係ナクシテ其
播種又ハ樹苗ヲ植ヘ付ケシ日ヨリ未タ二十ケ年ニ滿タ

サレ森林

其二 統園アル遊園及ク園庭又ハ人ノ住居所へ附属スル遊園及ク園庭

其三 十ヘクタール以下ノ面積ニシテ統園ヲ為サル森林然レハ其森林他ノ森林ニ接附シテ合テ十ヘクタールニ至リ又ハ其森林ノ山峰及ク山脚ニ在ルモノハ第二百十九条ノ定規ニ従フ可シ

第二百二十五条 第二百十九条ニ違背シテ開墾シタルコトニ付テノ訴訟ハ其開墾セシ日ヨリ二年ヲ過キシ後ハ「アレス」リ
フシヨシノ権法律上ニテ特ニ定メタル規則ニ循ヒ定期ノ時権ヲ免ルハニ依テ自ラ消尽ス可シ

第二百二十六条 山峰山脚及ク海辺且ツ「テント」ノ沙地ニ在ル森林ハ三十年間全ク無税タル可シ

佛国森林法大尾



